

第2次千葉市文化芸術振興計画 1次評価シート

基本施策名	基本施策4_千葉文化の担い手を「つなぐ」		
	(2)多様な協働・連携の促進		
事業名	2020おもてなしプロジェクト		
実施主体	指定管理者	(名称) 公益財団法人千葉市文化振興財団	
市との関わり	その他	企画提案事業	指定管理者
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先) 245-5961 (内)90-2526

事業概要	開始年度	令和元年度		
	事業費	(予算) 市： 209	その他：	(決算) 市： 162
	内容	東京オリンピック・パラリンピックの開催に併せ、千葉市を訪れる方々に千葉の民話を元にした紙芝居公演の実施を目指し、大学生などの若者達を対象に読み聞かせ等の講座とプレ公演を実施する。		
	目的	次代を担う学生などの若者とアーティストの協働により、オリンピック・パラリンピックの開催に併せ、千葉の魅力を発信する企画を行なう。文化芸術活動を通して若者同士のつながりや外国人留学生との交流を図る。		
	目標	(数値) 講座定員20名	(昨年度)なし	
	ねらい	(対象)大学生・専門学校生 (求める効果) オリンピック・パラリンピックに訪問する人々に向けて、親しみやすい伝統文化である紙芝居を取り上げて講座を行い、 グループによる発表の場を確保受講生同士が協力して舞台を創り上げる。講師であるアーティストとの交流の場をもったり、大学生などの若者に文化芸術を通して人とのつながりの楽しさを感じ取ってもらう。 (アプローチ方法) オリンピック・パラリンピックに訪問する人々に向けて、伝統文化である紙芝居を使って千葉の民話を中心とした物語をわかりやすく伝えられるイベントを2020年に開催できるよう、大学生などの若者たちに語りを中心とした講座を受講してもらい、プレ公演を通じて紙芝居実演の習得と発展をねらう。そのプレ公演として文化センターで実施する伝統芸能まつりに参加する。また日本語学校の協力の下、実際に外国人(留学生)に向けての発表公演を行う。		
	実績	令和元年 6月17日～9月3日 講座応募(応募者数19名) 9月4日 第1回講座 9月5日 第2回講座 9月8日 第3回講座 11月9日 千葉市文化センター伝統芸能まつり (参加者9名・発表作品7作・来場者20名) 令和2年 2月25日 3H日本語学校プレ公演 ※新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、中止。		
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市政だより ■ HP ■ ポスター・チラシ ■ フェイスブック・ツイッター ■ その他(千葉大学をはじめとする市内大学・専門学校へのポスター・チラシの配布) 		

【評価指標】 4：妥当、3：ほぼ妥当、2：工夫により改善、1：見直し

1 基本 施策 との 適合	(1) 妥当性	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、市内の学生団体や日本語学校の留学生によるおもてなしイベントを実施し交流してもらうことから基本施策4(2)②民間との連携や企業メセナ活動の促進、③大学等との連携に沿っており妥当。
	(2) 達成度	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) アンケートでは「紙芝居は初めて体験しましたが、気持ちを込めて読み聞かせるということが面白かったです。これを英語で挑戦することはとても面白いと思います。」といった好意的な意見が多く、日本語学校に通う留学生にも参加いただけた。市内の大学生や留学生とアーティストとの交流ができた。また、アーティストが参加者の大学に出向き紙芝居を披露するなどの交流もできた。
	(3) 波及		(評価の内容) 大学生だけでなく日本語学校の留学生にも日本の伝統文化である紙芝居を、体験してもらうことで伝統文化への理解・興味を促すことができた。【基本施策3(3)①伝統文化の理解促進】 オリンピック・パラリンピックに向けてのイベントとして文化センター伝統芸能まつりにおいて発表を行った。【基本施策2(1)③発表の場の提供】
2 戦 略 的 な 視 点 ・ 基 本 姿 勢 と の 適 合	(1) 市民主体	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 大学生・留学生などの若者が自ら企画に加わり、紙芝居を実演したことで市民主体の文化芸術活動の活性化に寄与できた。
	(2) 子ども・若者	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 紙芝居の講師にアーティストバンクちばのアーティストを迎え、大学生や留学生などの若者が紙芝居の講座や実演をアーティストとの交流を通じて、文化芸術に親しみ活動する機会を創出できた。
	(3) 領域の広がり	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) ・日本の大学生と海外からの留学生達が、一つの紙芝居作品と一緒に実演するなどを通して交流を図ることでお互いの伝統文化や多様性に触れることができた。 ・紙芝居という文化を初めて体験する受講者もあり、伝統文化の理解を深めるきっかけとなった。 ・実際に紙芝居の公演発表を体験してもらい、市民が舞台芸術に触れる場を提供できた。

3	事業のねらい	(1) 妥当性	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて活動する「学生団体おりがみ」と協働し、オリンピックに向けた紙芝居イベントの企画と日本語学校の留学生との交流を図るほか、紙芝居イベントの実施に係る講師には市内のアーティストを招くなど、基本施策の目的に合致する。</p>
		(2) アプローチ	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>オリンピック・パラリンピックに向けた活動を行っている「学生団体おりがみ」と協働できたことで事業を達成するためのアプローチとしての確である。また日本語学校に通う留学生達も授業の一環として、参加してもらうことで広がりをつくることができた。オリンピック・パラリンピックを契機に日本で誕生した紙芝居を知らない若者や外国人留学生に、紙芝居講座を通して交流やつながりを持つことができた。</p>
		(評価に関連する数値等)		
		アンケート回答結果：参加されたきっかけは「紙芝居を読むということをしたことがなかったの、どんな感じか興味があって参加しました」「学生団体の中で紹介された。誘われて、文化、芸術が元々好きだったので参加を決めた」「小さい時、読んでもらって楽しかった紙芝居について知りたかった為」「紙芝居が懐かしく感じ参加してみたいと感じたから」		
4	市民との関わり	(1) 満足度	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>2020年のオリンピック・パラリンピックに向けた紙芝居イベントの実施を目的として、「学生団体おりがみ」や留学生達たちが講座・公演に参加しねらい通りの効果が得られた。またアンケート回答からこれを機に人形劇などをやってみたいなど、文化に触れるきっかけづくりになったといえる。</p>
		(2) 周知度	<input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>講座そのものは好評であり受講人数も多かったが、発表の場である文化センター伝統芸能まつりでの集客が少なかった。出演側を通じて若い世代にも情報発信できるよう広報体制を検討したい。</p>
		(評価に関連する数値等)		
		アンケート回答結果： ・回数はいかがでしたか。「ちょうど良い」90% ・開催時期はいかがでしたか。「良い」60% 「やや良い」40% ・内容はいかがですか？「満足」90% 「やや満足」10% これからおこなってもらいたいワークショップは？「紙芝居の派生で人形劇など楽しそうです」「今回のように伝統芸能を表現する側に立つような講座を行って欲しい」		
5	効果	(1) 活動の活性化	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>2020年のオリンピック・パラリンピックに向けたおもてなし企画を実施する上で、「学生団体おりがみ」や留学生等の若者に講座を受けてもらい、発表の場で経験を積んでもらうという人材育成に寄与できたといえる。日本の大学生と海外からの留学生という参加者同士が、講座・公演を通して協働・連携の促進が図られた。</p>
		(2) 費用対効果	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>プロによる公演ではなく企画から講座を通じて実演までを若者たちが自ら行うことで、市民の協働・連携を促し2020年のオリンピック・パラリンピックに向けたおもてなしイベントの人材育成を達することが出来たため、費用対効果があったといえる。また派生効果として、受講者に日本の伝統文化に対する興味を引き出すことが出来たため、この点でも効果があったといえる。</p>
		(3) その他の効果	<p>(評価の内容) ※上記(1)(2)以外の効果があった場合のみ記載（地域活性化等なんでも可）</p>	
		(評価に関連する数値等)		
		年度予算：209,000円 支出総額：161,052円		